

概要版（単純集計）

米原市民意識調査

【平成 23 年度報告書】

平成 23 年 9 月



米原市

目 次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査概要.....	2
(2) 報告書の見方.....	2
2. 調査結果.....	3
あなた自身のことについてお伺いします.....	4
まちづくり全般についてお伺いします.....	9
市民主権による都市経営（協働のまちづくり推進）についてお伺いします.....	12
顔の見える都市経営（情報の共有）についてお伺いします.....	13
次代に引き継ぐための都市経営（行財政改革の推進）についてお伺いします.....	17
「1. 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち」に関する設問です.....	19
「2. 市民の絆で築く心と体の健康なまち」に関する設問です.....	20
「3. 田舎都市が魅せるいやしのまち」に関する設問です.....	23
「4. 災害に強く生活が便利なほっとするまち」に関する設問です.....	23
「5. 地の利を活かしたにぎわいのまち」に関する設問です.....	25

1. 調査の概要

(1) 調査概要

【調査の目的】

米原市のまちづくりや都市経営のことなどについて市民の意見をうかがい、市民の市政に対する評価、これからのまちづくりに対するニーズや意識を把握し、市政運営に当たっての基礎的資料を得ることを目的にアンケート調査を実施しました。

【調査の概要】

調査区域	: 米原市全域
調査対象	: 18歳以上の市民から3,000人を無作為抽出
調査時期	: 平成23年6月17日～7月15日
配布数	: 3,000票
回収数	: 1,238票
回収率	: 41.3%

(2) 報告書の見方

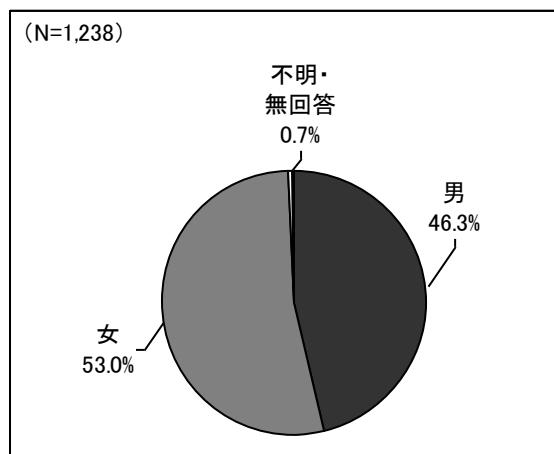
- 回答結果は、小数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフのN数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが繁雑になる場合は省略しています。
- 本文中の「今回調査」とは、平成23年度実施の本調査のことであり、「前回調査」とは平成18年度に実施した総合計画等策定のための市民アンケートを指します。

2. 調査結果

あなた自身のことについてお伺いします

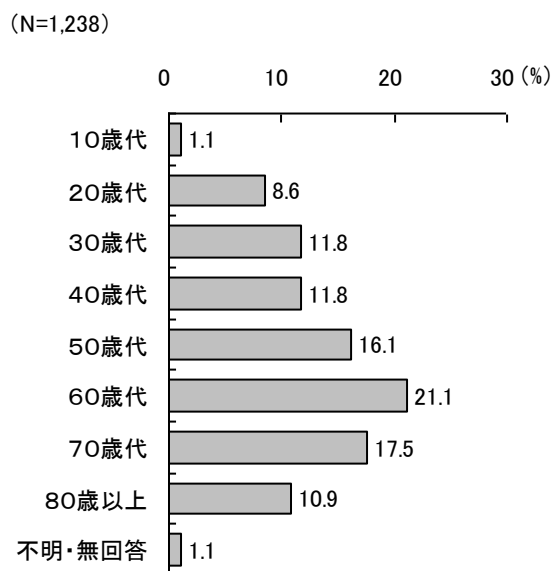
問1 あなたの性別は。〈○は1つ〉

性別についてみると、「男性」が46.3%、「女性」が53.0%となっています。



問2 あなたの年齢は。〈○は1つ〉

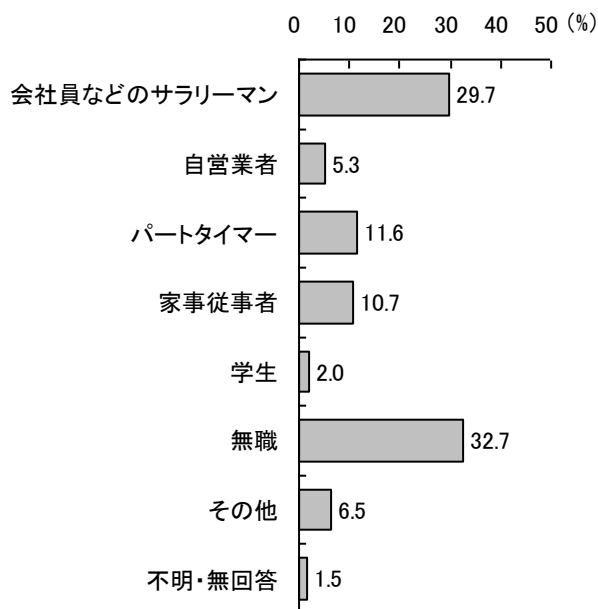
年齢についてみると、「60歳代」が21.1%と最も高く、次いで「70歳代」が17.5%となっています。



問3 あなたのご職業は何ですか。〈〇は1つ〉

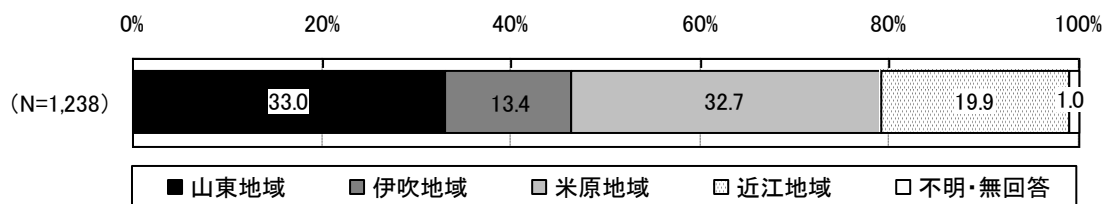
職業についてみると、「無職」が 32.7%と最も高く、次いで「会社員などのサラリーマン」が 29.7%となっています。

(N=1,238)



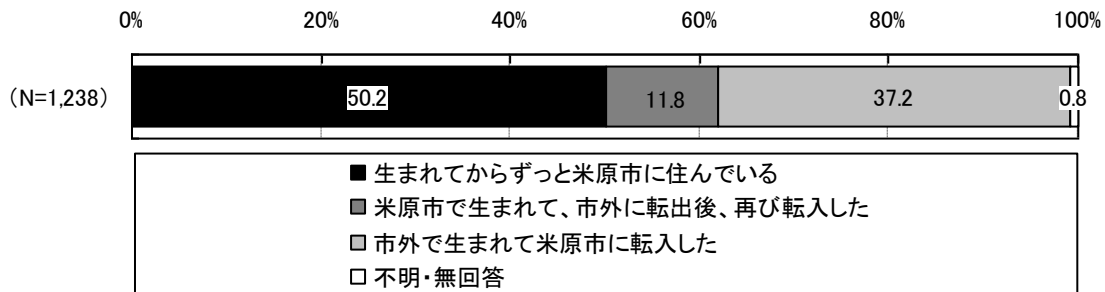
問4 あなたのお住まいはどちらですか。〈〇は1つ〉

居住地域についてみると、「山東地域」が 33.0%と最も高く、次いで「米原地域」が 32.7%となっています。



問5 あなたは、米原市（旧坂田郡4町を含む）にいつからお住まいですか。
 <○は1つ>

米原市にいつから住んでいるかについてみると、「生まれてからずっと米原市に住んでいる」が50.2%と最も高く、次いで「市外で生まれて米原市に転入した」が37.2%となっています。

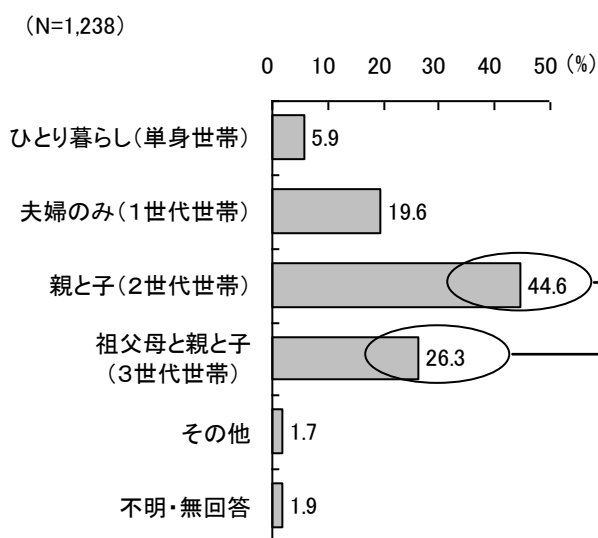


問6 あなたのご家族の構成はどれですか。また、「3」、「4」と答えられた方は15歳以下の子どもが「いる」、「いない」についてもお答えください。<○は1つ>

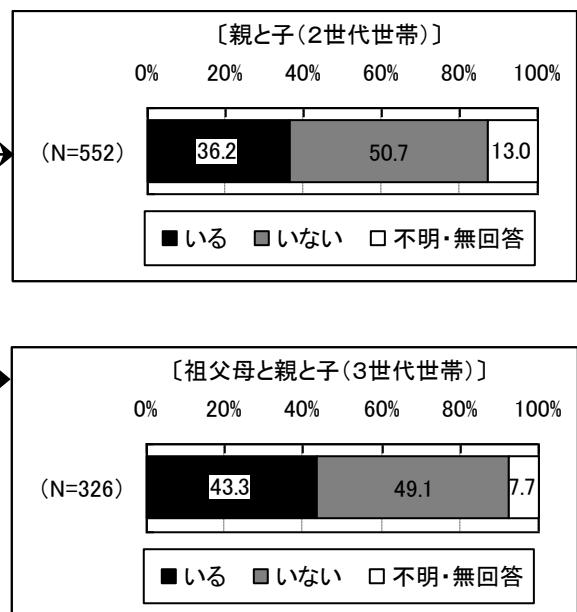
家族構成についてみると、「親と子（2世代世帯）」が44.6%と最も高く、次いで「祖父母と親と子（3世代世帯）」が26.3%となっています。

家族構成で「親と子（2世代世帯）」と答えられた方の、15歳以下の子の有無についてみると、「いる」が36.2%、「いない」が50.7%となっています。「祖父母と親と子（3世代世帯）」と答えられた方の、15歳以下の子の有無についてみると、「いる」が43.3%、「いない」が49.1%となっています。

■ 家族構成

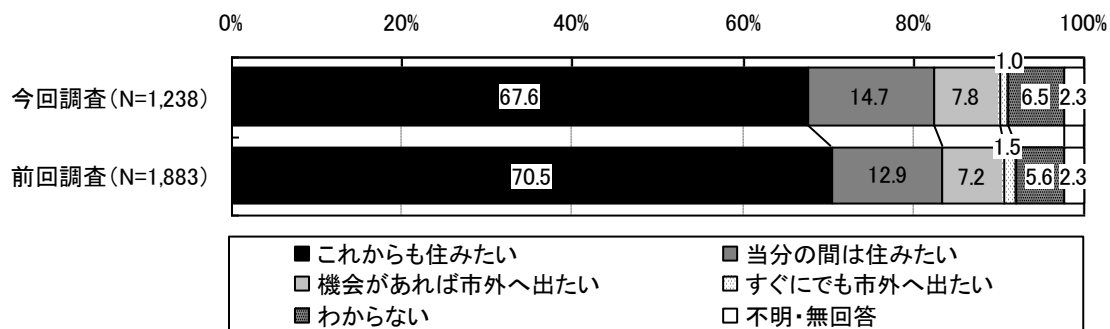


■ 15歳以下の子の有無



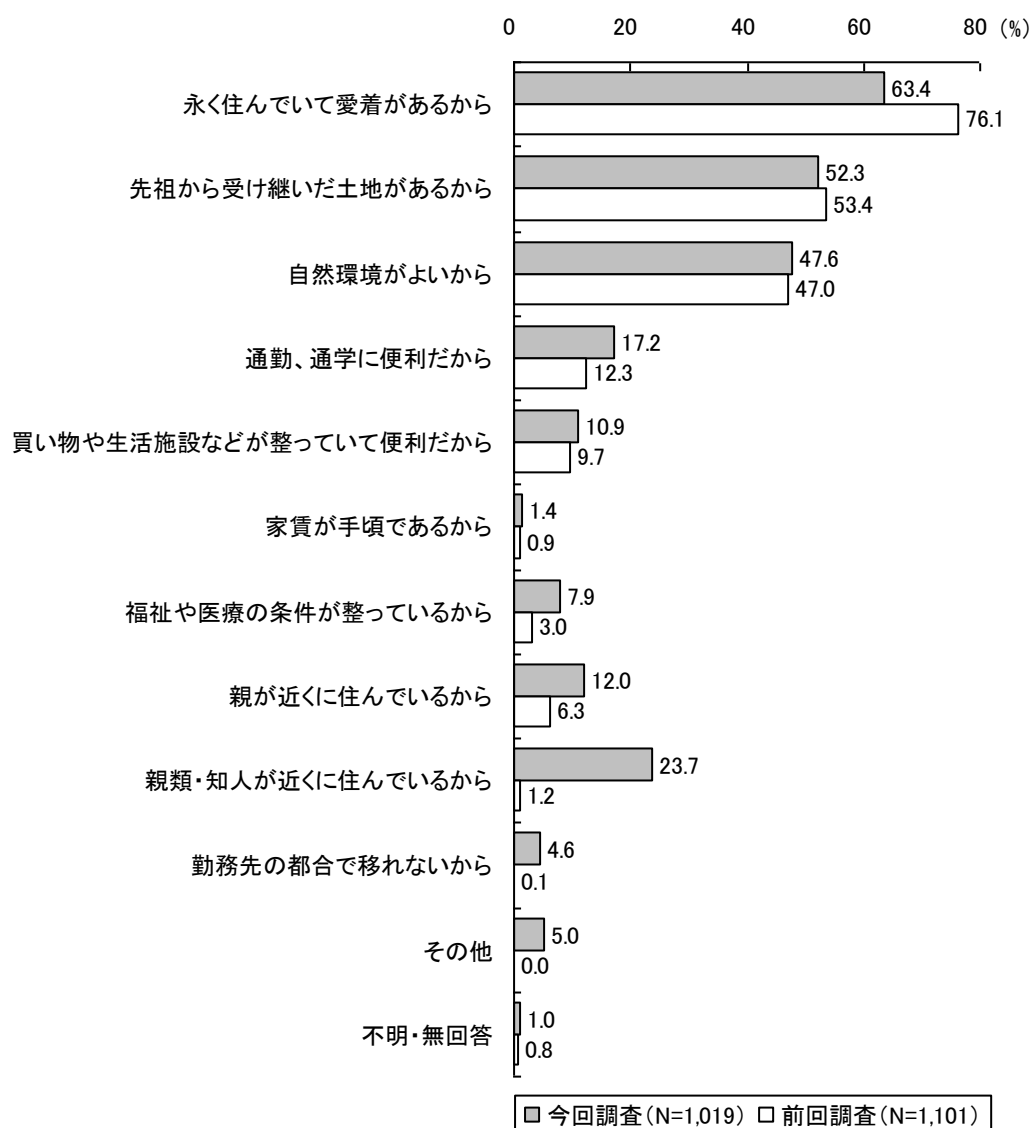
問7 あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか。〈〇は1つ〉

これからも米原市に住みたいと思うかについてみると、今回調査では「これからも住みたい」が67.6%と最も高く、次いで「当分の間は住みたい」が14.7%と合わせて8割以上の人が定住を希望しています。しかし、前回調査と比較すると、1.1ポイント減となっています。



付問1 問7で「1」、「2」と答えられた方で、今後も住みたい理由は何ですか。
 <〇は4つまで>

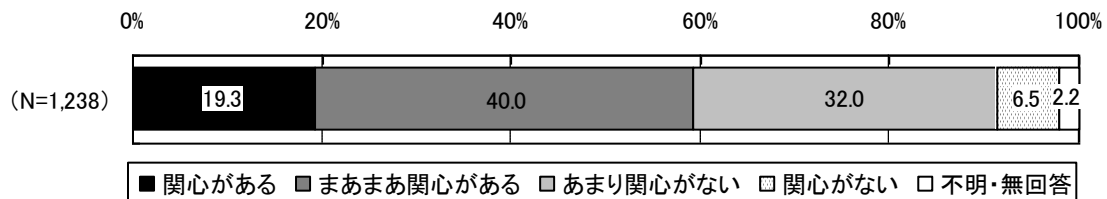
「これからも住みたい」または「当分の間は住みたい」と答えた方の、その理由についてみると、今回調査では「永く住んでいて愛着があるから」が63.4%と最も高く、次いで「先祖から受け継いだ土地があるから」が52.3%となっています。また、前回調査と比較すると、上位2位の順位に変化がみられないものの、割合では「永く住んでいて愛着があるから」で12.7ポイント減、「先祖から受け継いだ土地があるから」で1.1ポイント減となっています。一方、「親類・知人が近くに住んでいるから」が、今回調査では23.7%となっており、前回調査よりも22.5ポイント増となっています。



まちづくり全般についてお伺いします

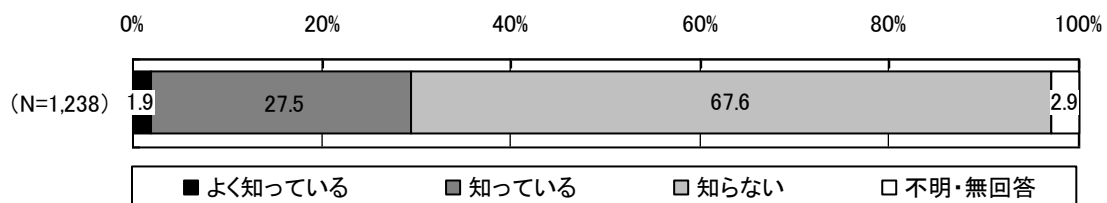
問8 あなたは、市政に関心をお持ちですか。〈〇は1つ〉

市政への関心についてみると、「関心がある」「まあまあ関心がある」の合計（以下『関心がある』と表記）は59.3%と6割近くの方が市政に関心を持っており、「あまり関心がない」「関心がない」の合計（以下『関心がない』と表記）は38.5%と、市政に関心のある人が上回っています。



問9 あなたは、市のまちづくりの基本ルールである「米原市自治基本条例」をご存じですか。〈〇は1つ〉

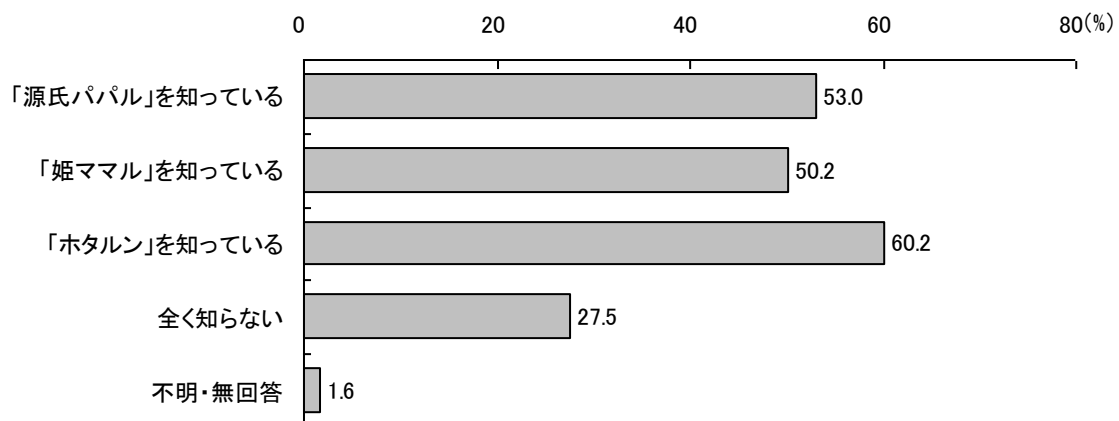
「米原市自治基本条例」の認知度についてみると、「よく知っている」「知っている」を合わせた「米原市自治基本条例」を知っている人は29.4%で、約7割近くの方が認知していない状況です。



問10 あなたは、ホテルをデザインにした市の「シンボルキャラクター」をご存じですか。〈あてはまるものすべてに〇〉

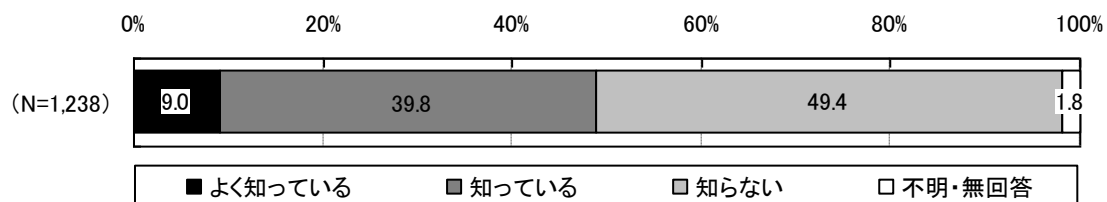
市の「シンボルキャラクター」の認知度についてみると、「ホテルン」を知っている」が60.2%と最も高く、次いで「源氏パパール」を知っている」が53.0%、「姫ママル」を知っている」が50.2%と、5割以上の人に認識されています。

(N=1,238)



問 11 あなたは、市が「まいばら親子の絆（きずな）プロジェクト」を推進していることをご存じですか。〈〇は1つ〉

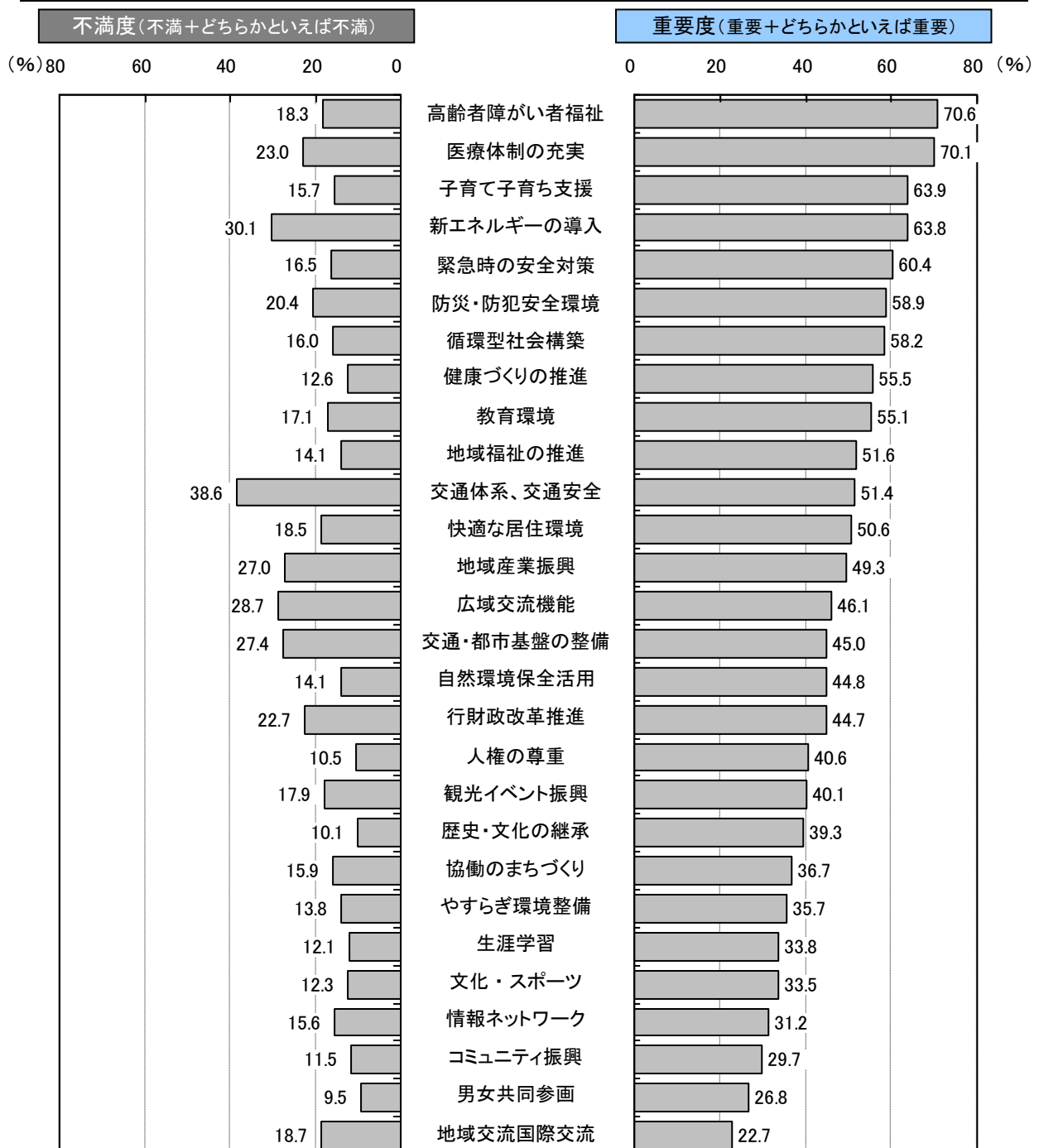
市が「まいばら親子の絆（きずな）プロジェクト」を推進していることの認知度についてみると、「よく知っている」「知っている」を合わせた「まいばら親子の絆（きずな）プロジェクト」を知っている人は48.8%で、5割近くの人が認識していない状況です。



問 12 あなたは、次のそれぞれの項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたのお考えに一番近い番号を「1～5」の中からそれぞれ選んで、番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージでお答えください。〈○は項目ごとに1つ、計2つ〉

重要度では、「高齢者障がい者福祉」「医療体制の充実」「子育て支援」などの医療・福祉に対して今後も継続して取り組みを進めていくことが求められています。

不満度では、「交通体系、交通安全」「新エネルギーの導入」「広域交流機能」「交通・都市基盤の整備」「地域産業振興」など、交通などの都市基盤の整備や産業振興などに今後さらに力を入れていくことが求められています。

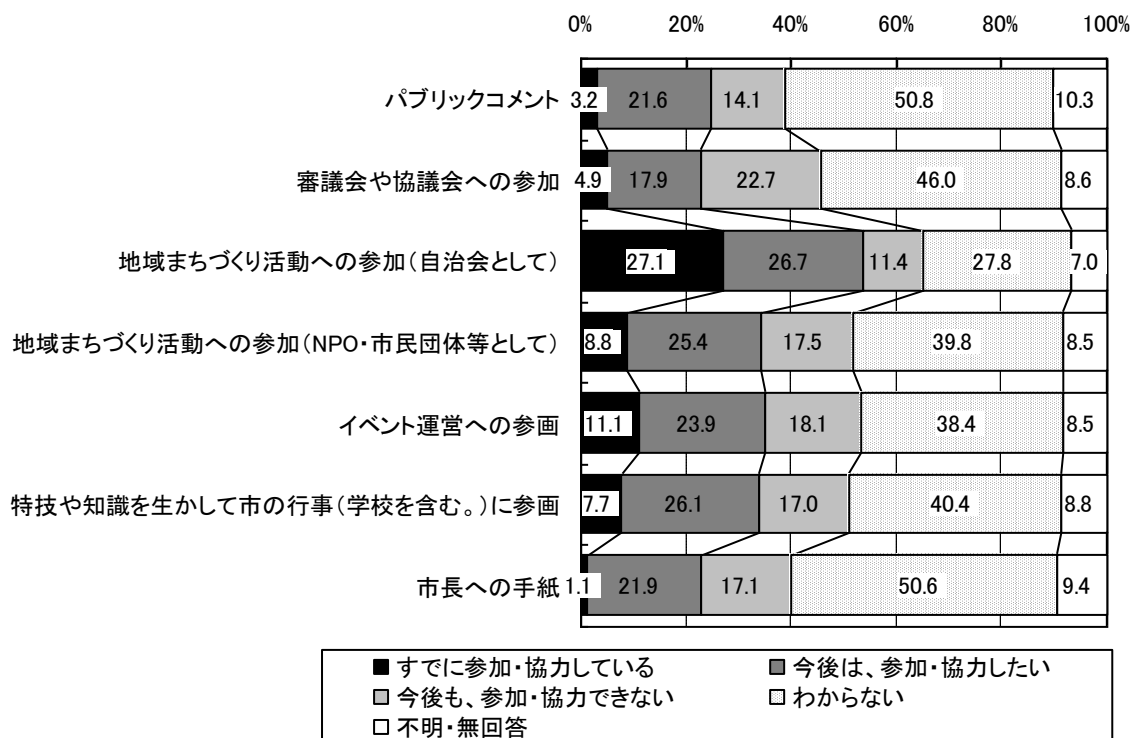


市民主権による都市経営（協働のまちづくり推進）についてお伺いします

問 13 あなたは、市民と行政が協力して行う取組について、これまでに参加・協力したことがありますか。また、参加・協力したことがない方は、今後のお考えについてお答えください。〈項目ごとに〇は1つ〉

市民と行政が協力して行う取組についての参加・協力状況についてみると、[審議会や協議会への参加]を除く各項目で「今後は、参加・協力したい」が2割となっており、特に[地域まちづくり活動への参加(自治会として)]では「すでに参加・協力している」でも2割となっています。

(N=1,238)

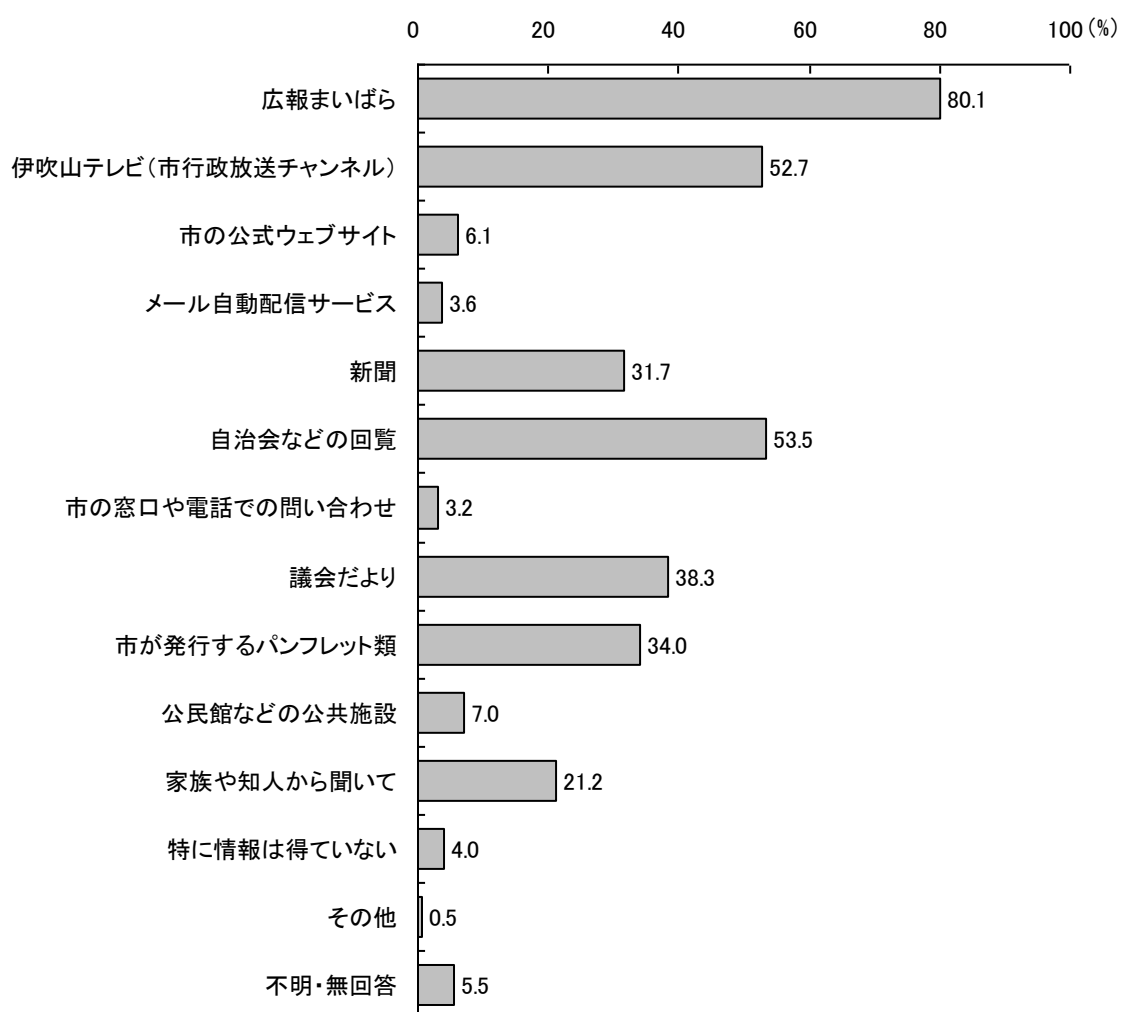


顔の見える都市経営（情報の共有）についてお伺いします

問 14 あなたは、市の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。
〈あてはまるものに○〉

市の行事や行政サービスの情報源についてみると、「広報まいばら」が 80.1%と最も高く、次いで「自治会などの回覧」が 53.5%、「伊吹山テレビ（市行政放送チャンネル）」が 52.7%となっています。

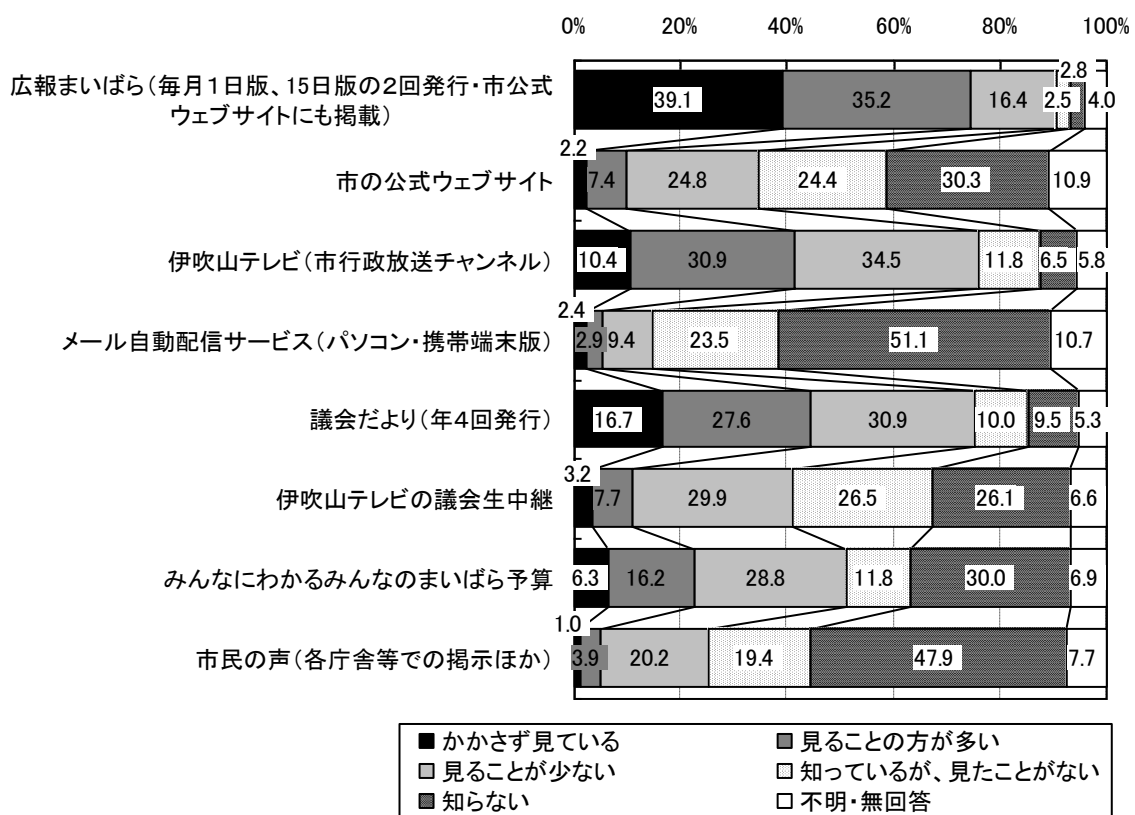
(N=1,238)



問 15 あなたは、市が発信している以下の情報を、どのような頻度で得ていますか。それぞれの項目についてお答えください。〈○はそれぞれ1つずつ〉

市が発信している情報を、どのような頻度で得ているかについてみると、[広報まいばら（毎月1日版、15日版の2回発行・市公式ウェブサイトにも掲載）]では「かかさず見ている」が39.1%と、最も高くなっています。また、[市の公式ウェブサイト][メール自動配信サービス（パソコン・携帯端末版）][みんなにわかるみんなのまいばら予算][市民の声（各庁舎等での掲示ほか）]では「知らない」が最も高く、特に[メール自動配信サービス][市民の声]では5割前後となっています。

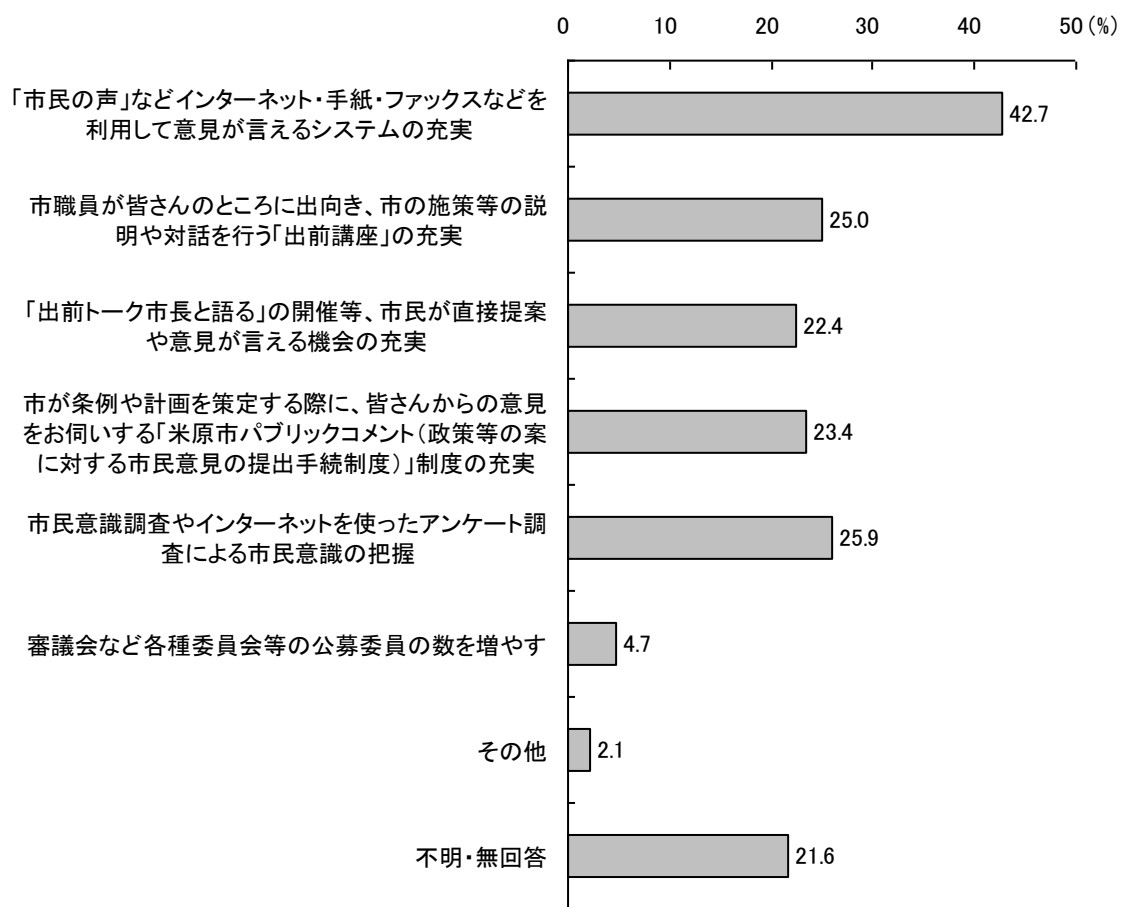
(N=1,238)



問 16 市では多くの機会を通じて、市民の皆さんから広くご意見をお伺いできるよう、様々な仕組みをご用意していますが、皆さんが市政に対する意見を述べやすくするためには、どのようなことが必要だと思われますか。〈あてはまるものすべてに○〉

市民が市政に対する意見を述べやすくするために、必要だと思うことについてみると、「市民の声」などインターネット・手紙・ファックスなどを利用して意見が言えるシステムの充実」が42.7%と最も高く、次いで「市民意識調査やインターネットを使ったアンケート調査による市民意識の把握」が25.9%となっています。

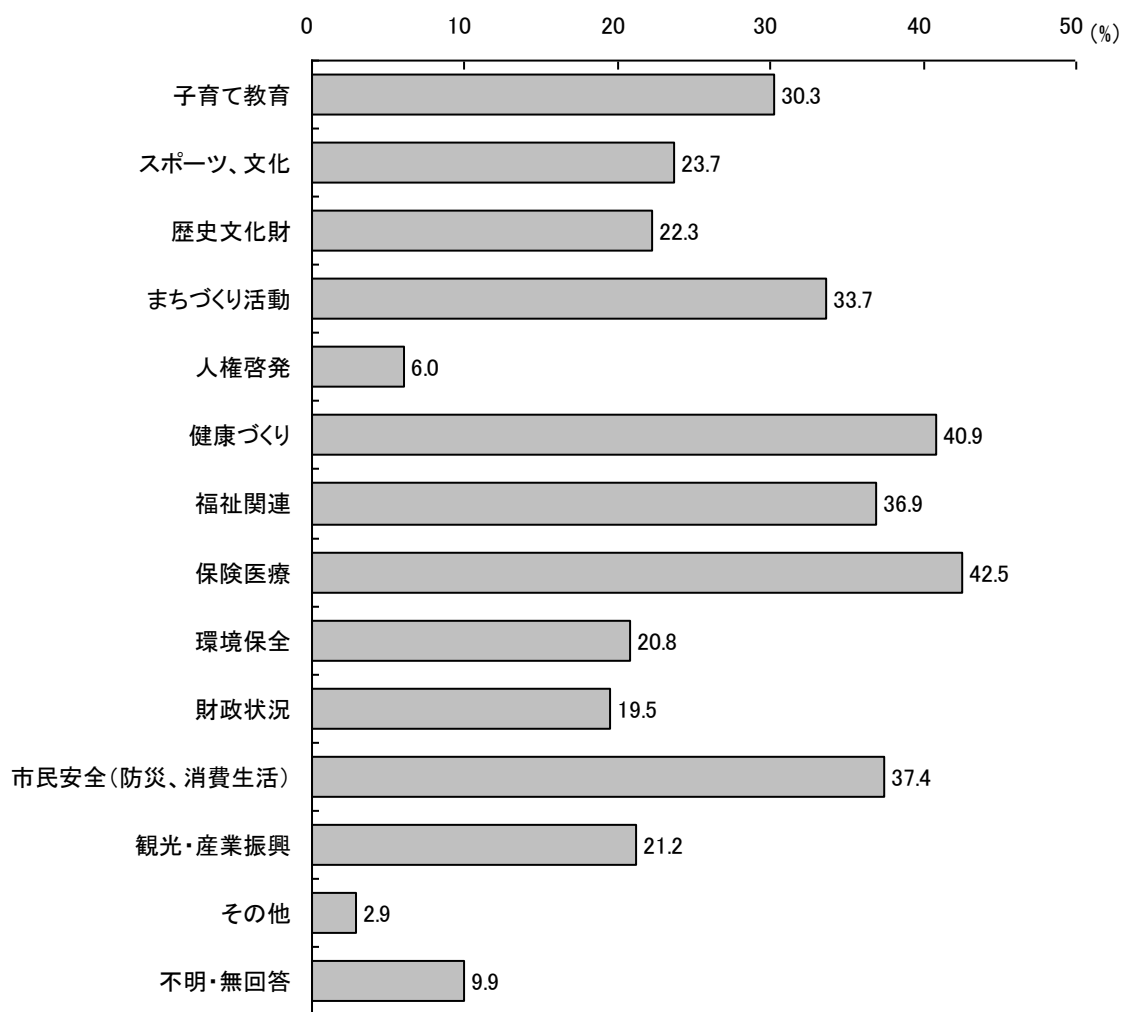
(N=1,238)



問 17 今後、広報まいばらや伊吹山テレビなどで更に充実してほしい内容はどんなことですか。〈あてはまるものすべてに○〉

今後、広報まいばらや伊吹山テレビなどで更に充実してほしい内容についてみると、「保険医療」が42.5%と最も高く、次いで「健康づくり」が40.9%となっています。

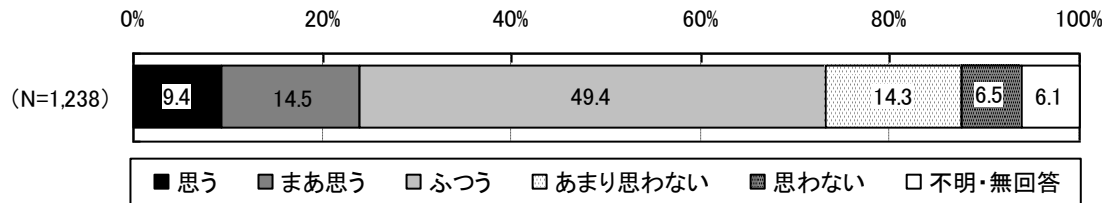
(N=1,238)



次代に引き継ぐための都市経営（行財政改革の推進）についてお伺いします

問 18 あなたは、市役所職員の対応はよいと思いますか。〈〇は1つ〉

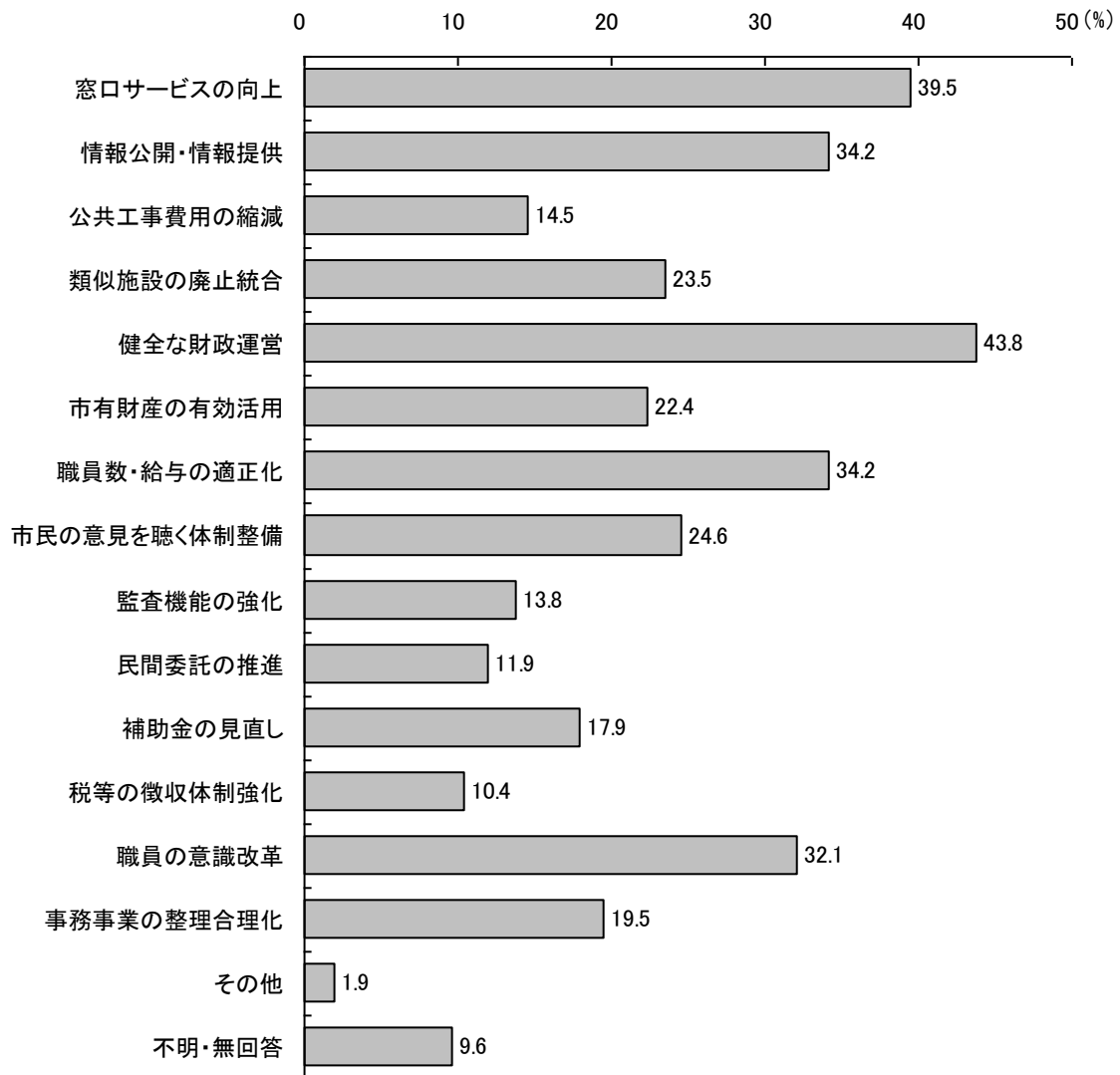
市役所職員の対応はよいと思うかについてみると、「ふつう」が 49.4%と最も高くなっています。また、「思う」「まあ思う」の合計の『思う』が 23.9%、「あまり思わない」「思わない」の合計の『思わない』が 20.8%とほぼ同水準となっています。



問 19 あなたは、行財政改革を推進する上で、何に重点をおいて実施するべきとお考えですか。〈あてはまるものすべてに〇〉

行財政改革を推進する上で、何に重点をおいて実施するべきかについてみると、「健全な財政運営」が43.8%と最も高く、次いで「窓口サービスの向上」が39.5%、「情報公開・情報提供」「職員数・給与の適正化」が34.2%、「職員の意識改革」が32.1%となっています。

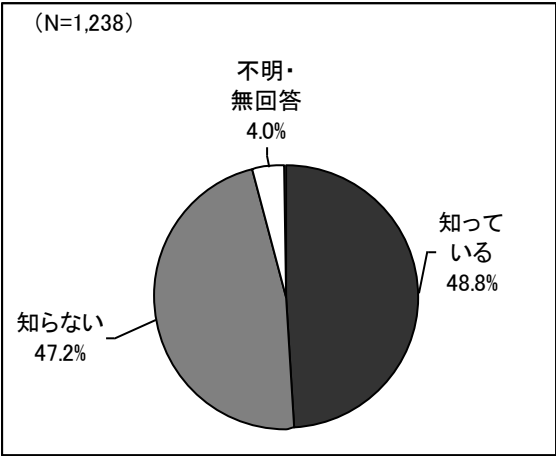
(N=1,238)



「1. 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち」に関する設問です

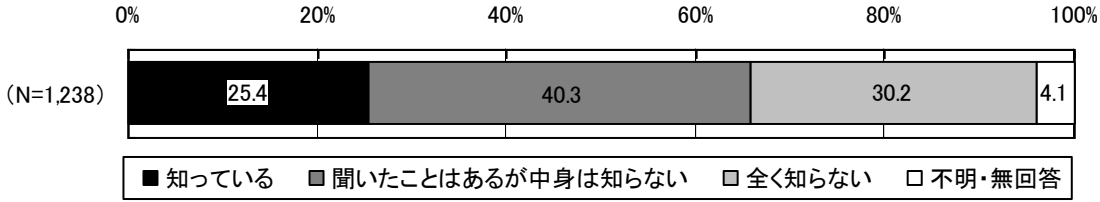
問 20 あなたは、市が「非核・平和都市宣言のまち」であることをご存じですか。
 <○は1つ>

市が「非核・平和都市宣言のまち」であることの認知度についてみると、「知っている」が 48.8%、「知らない」が 47.2%となっており、ほぼ同水準となっています。



問 21 あなたは、市が「食育」を推進していることをご存じですか。 <○は1つ>

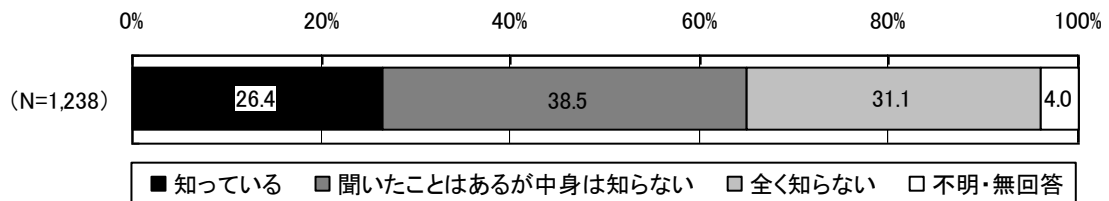
市が「食育」を推進していることの認知度についてみると、「聞いたことはあるが中身は知らない」が 40.3%、「全く知らない」が 30.2%と、『十分に知らない』人が7割以上となっています。



「2. 市民の絆で築く心と体の健康なまち」に関する設問です

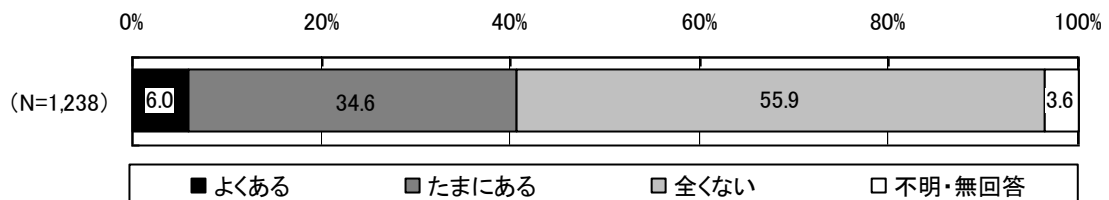
問 22 あなたは、市が設置している「地域子育て支援センター“あゆっこ”“はなばたけ”“寺子屋”」をご存じですか。〈〇は1つ〉

「地域子育て支援センター“あゆっこ”“はなばたけ”“寺子屋”」の認知度についてみると、「知っている」が26.4%であるのに対して、「聞いたことはあるが中身は知らない」が38.5%、「全く知らない」が31.1%と『十分に知らない』人が7割近くとなっています。



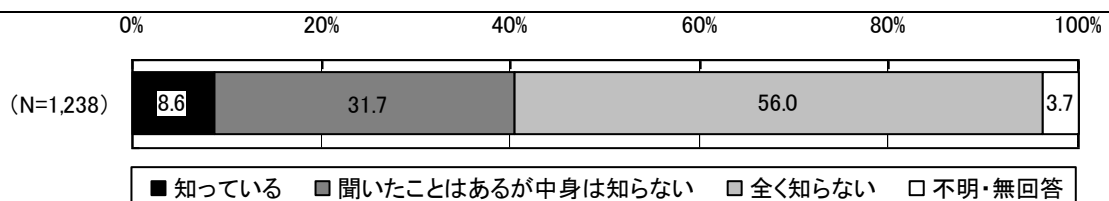
問 23 あなたは、地域の子どもたちと遊んだり、一緒に活動したりすることはありますか。〈〇は1つ〉

地域の子どもたちと遊んだり、一緒に活動することの有無についてみると、「よくある」「たまにある」を合わせた『ある』は4割程度であるのに対して、「全くない」(55.9%)を下回っており、子どもと遊んだり、一緒に活動していない人のほうが多くなっています。



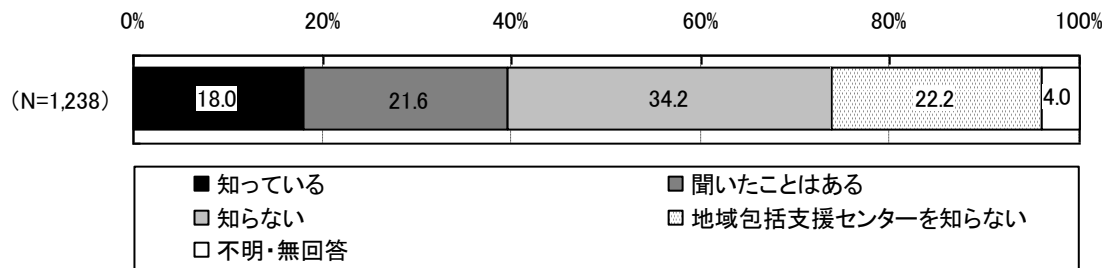
問 24 あなたは、市が実施している「まいちゃん子育て応援隊」制度をご存じですか。〈〇は1つ〉

「まいちゃん子育て応援隊」制度の認知度についてみると、「知っている」が8.6%であるのに対して、「全く知らない」が56.0%、「聞いたことはあるが中身は知らない」が31.7%と、『十分に知らない』人が9割近くとなっており、ほとんど認知されていないことがうかがえます。



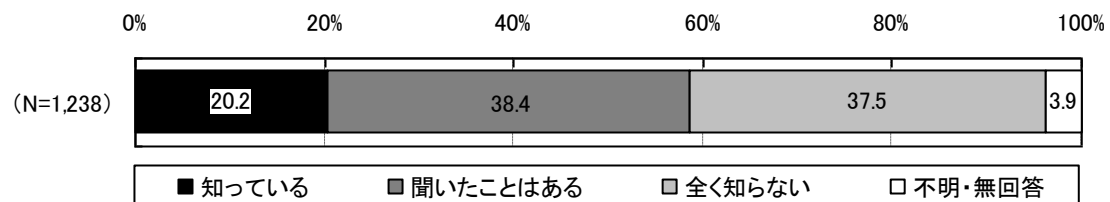
問 25 あなたは、山東庁舎内にある「地域包括支援センター」で介護保険や認知症などの相談をお受けしていることをご存じですか。〈〇は1つ〉

山東庁舎内にある「地域包括支援センター」で介護保険や認知症などの相談を受けていることの認知度についてみると、「知っている」「聞いたことはある」がそれぞれ2割程度であるのに対して、「知らない」が34.2%、「地域包括支援センターを知らない」が22.2%と合わせて6割近くとなっており、認知度は低くなっています。



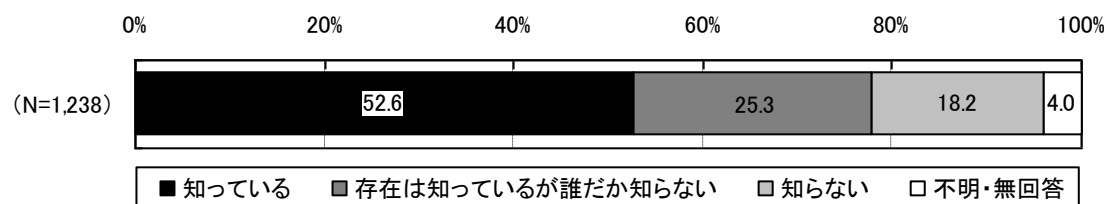
問 26 あなたは、市が実施している「結婚相談事業」をご存じですか。〈〇は1つ〉

「結婚相談事業」の認知度についてみると、「知っている」が2割程度となっている一方、「聞いたことはある」が38.4%、「全く知らない」が37.5%と、十分に知らない人は8割近くとなっています。



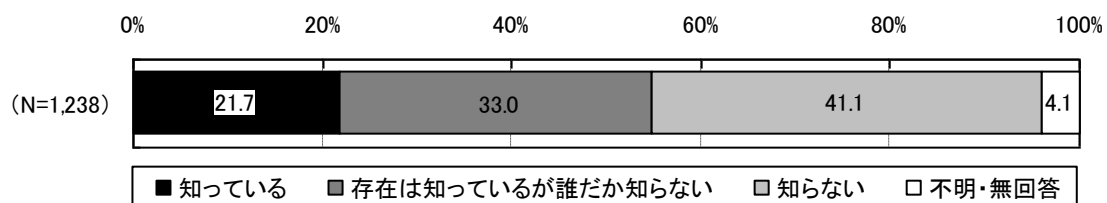
問 27 あなたは、地域を担当する「民生委員児童委員」をご存じですか。〈〇は1つ〉

「民生委員児童委員」の認知度についてみると、「知っている」が52.6%と5割以上であり、「存在は知っているが誰だか知らない」(25.3%)、「知らない」(18.2%)の合計を上回っており、認知度が高くなっています。



問 28 あなたは、地域の身近な相談相手として活動する「人権擁護委員」をご存じですか。〈〇は1つ〉

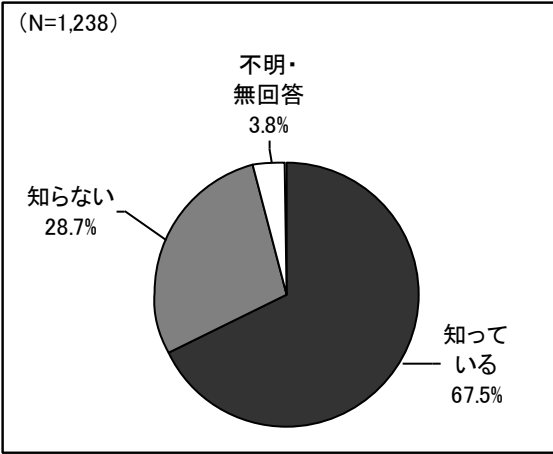
「人権擁護委員」の認知度についてみると、「知っている」が2割程度であるのに対して、「知らない」が41.1%、「存在は知っているが誰だか知らない」が33.0%と、十分に知られていないことがうかがえます。



「3. 田舎都市が魅せるいやしのまち」に関する設問です

問 29 あなたは、「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることをご存じですか。〈〇は1つ〉

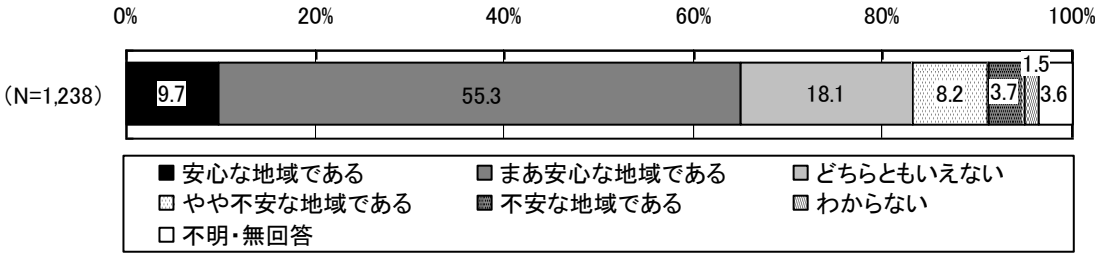
「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることの認知度についてみると、「知っている」が67.5%と、「知らない」の28.7%を、38.8ポイント上回っており、認知度が高くなっています。



「4. 災害に強く生活が便利なほっとするまち」に関する設問です

問 30 あなたが暮らしている地域は、犯罪や非行に対して安心な地域だと思いますか。〈〇は1つ〉

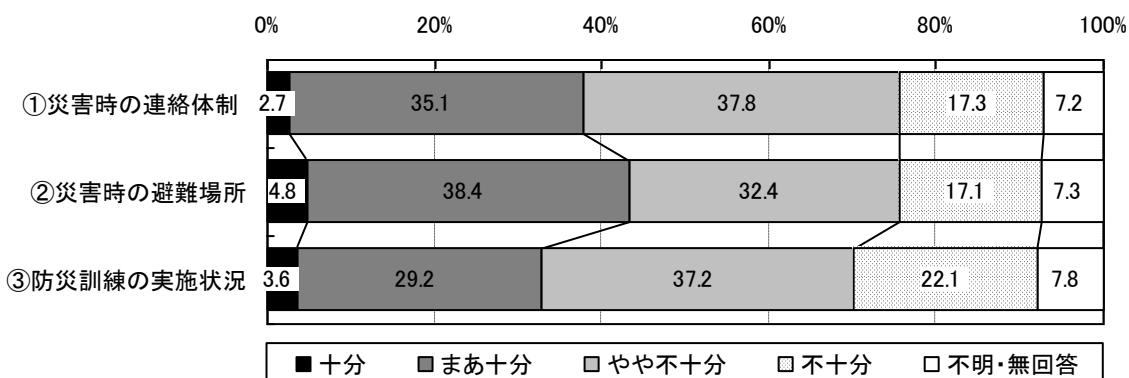
暮らしている地域は、犯罪や非行に対して安心な地域だと思うかについてみると、「安心な地域である」「まあ安心な地域である」の合計（以下『安心な地域』と表記）は65.0%と、「やや不安な地域である」「不安な地域である」の合計（以下『不安な地域』と表記）11.9%を、53.1ポイント上回っており、安心な地域としての認識が高まっています。



問 31 あなたは、災害に対する備えとして、次の項目は十分だと思いますか。それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

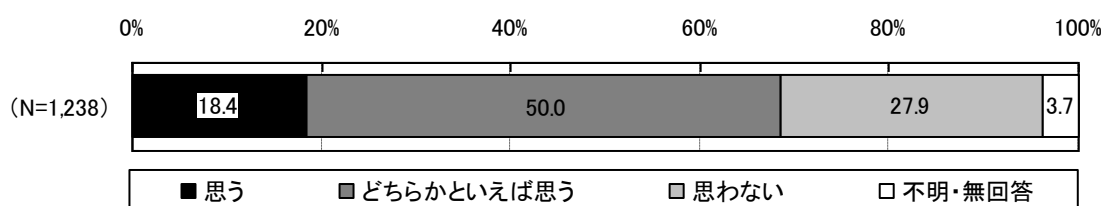
災害に対する備えとして十分だと思うかについてみると、各項目において「やや不十分」「不十分」を合わせた『不十分』が、「十分」「まあ十分」を合わせた『十分』を上回っています。特に〔③防災訓練の実施状況〕では『不十分』が59.3%となっており、防災訓練の実施が求められています。

(N=1,238)



問 32 あなたは、米原市の水道水はおいしいと思いますか。〈○は1つ〉

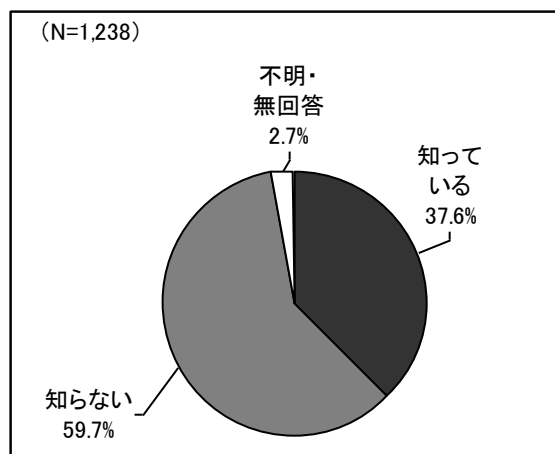
米原市の水道水はおいしいと思うかについてみると、「どちらかといえば思う」が50.0%、「思う」が18.4%と、7割近くの方がおいしいと思っています。一方、「思わない」との回答は3割近くとなっています。



「5. 地の利を活かしたにぎわいのまち」に関する設問です

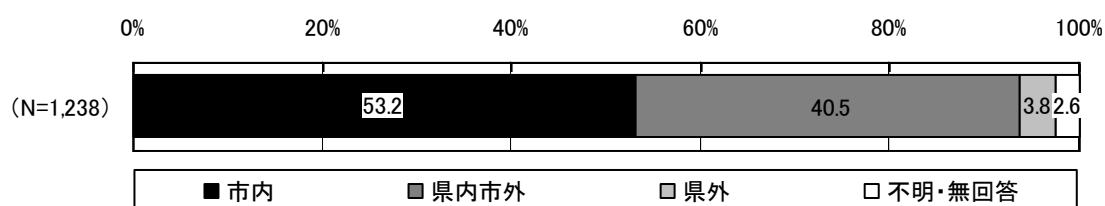
問 33 あなたは、「水源の里まいばら元気みらい条例」で市全域を「水源の里」としていることをご存じですか。〈〇は1つ〉

「水源の里まいばら元気みらい条例」で市全域を「水源の里」としていることの認知度についてみると、「知っている」が37.6%であり、「知らない」(59.7%)を、22.1ポイント下回り、認知度は低くなっています。



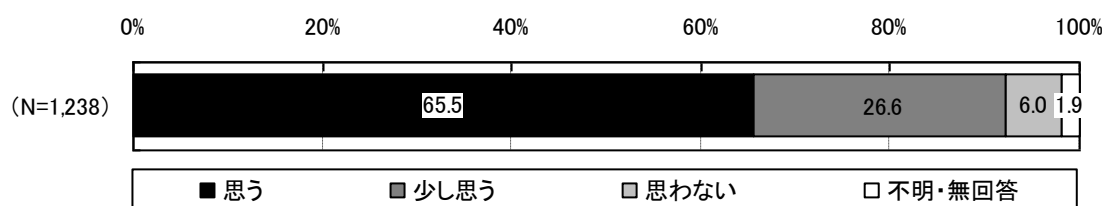
問 34 あなたは、食料品などの日常的な買い物をどちらでされますか。〈〇は1つ〉

食料品などの日常的な買い物をどこでしているかについてみると、「市内」が53.2%と最も高く、次いで「県内市外」が40.5%となっています。



問 35 あなたは、なるべく地元で採れるものを食べたいと思いますか。〈〇は1つ〉

なるべく地元で採れるものを食べたいと思うかについてみると、「思う」が65.5%、「少し思う」が26.6%と、9割以上の方が地元で採れるものを食べたいと思っています。



問 36 あなたは、米原市を訪れる観光客などお客さんを快く受入れていますか。〈〇は1つ〉

米原市を訪れる観光客などお客さんを快く受入れるかについてみると、「良くも悪くもない」が56.6%と半数以上を占めています。一方、「快く受入れている」が38.2%と4割近くとなっており、「快く思わない」の2.0%を大幅に上回っていますが、観光客や観光への関心はあまり高くないことがうかがえます。

